

【NEWS】

男女共同参画推進室の取組が岐阜新聞(2021年6月21日付・朝刊)に掲載

岐阜大学が代表機関となり、岐阜薬科大学、岐阜女子大学およびアピ株式会社が共同実施機関として2015年度にスタートした文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)「地域循環型女性研究者育成・支援プログラム」が6年間の事業期間を経て2021年3月に終了し、これまでの成果をまとめた冊子『女性研究者と拓く研究の未来—清流の国 輝くギフジョ支援プロジェクト 成果と課題』を刊行しました(オンライン公開)。

事業期間終了にあたって、女性研究者を中心とする多様な研究者の活躍を通じた地域創生を目指す本事業の取組の重要性を鑑み、4機関(岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社)が引き続き自主的に取組を継続実施することに合意し、2021年度から新事業名「多様な研究者と拓く岐阜の未来プロジェクト」として再スタートしました。

このことについて岐阜新聞社に取材いただき、2021年6月21日の朝刊に「女性研究者 成果キラリ 県内産学連携 6年事業」の見出しとともに本事業の成果について掲載いただきました。



【写真】

〈前列左より〉永澤秀子(岐阜薬科大学ダイバーシティ推進室長)、森脇久隆(岐阜大学長)、野々垣孝彦(アピ株式会社代表取締役社長)、三宅茜巳(岐阜女子大学文化創造学部教授)

〈後列左より〉落合絵美(岐阜大学男女共同参画推進室助教)、大藪千穂(岐阜大学副学長(多様性・人権・図書館担当))、荒木陽子(アピ株式会社キャリアアップ推進室長)、野々垣裕香(アピ株式会社キャリアアップ推進室員)

『女性研究者と拓く研究の未来—清流の国 輝くギフジョ支援プロジェクト 成果と課題』(オンライン公開)

<https://www.l.gifu-u.ac.jp/~sankaku/pdf/Female%20Researchers%20Report%202020.pdf>